

学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

中日本自動車短期大学では、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3つのポリシーに基づき、機関レベル（大学）、教育課程レベル（学科）、科目レベル（授業・科目）の3段階で学習成果を評価する方法を次の通り定める。

目的

1. 短期大学の卒業認定・学位授与の方針に定める学生が身に付けるべき知識、能力に関する学修成果の把握・評価を行なう。
2. 学修成果を把握・評価することで、学生自らがPDCAに取り組み、学生自らが成長を実感できるようにする。
3. 学修成果を把握・評価することで、授業科目担当者及び学科として教育の改善・向上に取り組み、教育の質を保証する。
4. 学修成果の把握・評価に関する情報を公開することにより、社会への説明責任を果たす。

評価の方法

1. 機関レベル
学生の志望進路（就職率、資格取得率、資格等をいかした専門領域への就職率及び進学率）等から学修成果の達成状況を評価する。
2. 教育課程レベル
各学科の所定の教育課程における卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA等から教育課程を通じた学修成果の達成状況を評価する。
3. 科目レベル
シラバスで提示された授業科目の学修目標に対する学生授業評価等の結果から、科目ごとの達成状況を評価する。

評価指標

1. 機関レベルでの評価指標
卒業率・学位取得率、資格取得率、就職率、就職先、卒業時アンケート、GPA分布、休学率、退学率
2. 教育課程レベルでの評価指標
卒業率、単位取得率、成績分布（GPA分布）、授業アンケート、学修到達度アンケート、休学率、退学率

3. 科目レベルでの評価指標

授業アンケート、学修到達度アンケート、科目毎の単位認定状況

評価後の改善・向上

1 機関レベル

機関レベルにおいては、各種評価指標について、自己点検評価、教授会、学科会議等を通じ全学的に評価結果を共有し、全学的な改善・向上・開発に取り組む。

2. 教育課程レベル

教育課程レベルにおいては、各種評価指標について、学科会議、学長室会議、教授会、教務委員会等を通じ評価結果を共有し、全学及び各学科として改善・向上・開発を行なう。

3. 授業科目レベル

授業科目レベルにおいては、各種評価指標について、FD委員会、教務委員会等及び各科目担当者が授業の改善・向上、開発に取り組む。

学修成果の評価に係るPDCAサイクル

